

収蔵古文書一覧等

※地区は、古文書の旧所在地をもとに分類してあります。

※「不可」の資料は未整理。整理が済み次第閲覧可能。

- ・ 千葉地区(千葉市、習志野市、市原市、八千代市)
- ・ 東葛飾地区(市川市、船橋市、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市)
- ・ 印旛地区(佐倉市、成田市、四街道市、八街市、印西市、富里市、印旛郡)
- ・ 香取地区(香取市、香取郡)
- ・ 海匝地区(銚子市、旭市、匝瑳市)
- ・ 山武地区(東金市、山武市、山武郡)
- ・ 長生地区(茂原市、長生郡)
- ・ 夷隅地区(勝浦市、いすみ市、夷隅郡)
- ・ 安房地区(館山市、鴨川市、南房総市、安房郡)
- ・ 君津地区(木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市)
- ・ 県外(当館所蔵)

千葉地区(千葉市、習志野市、市原市、八千代市)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
千葉地区	1	千葉県庁伝来文書(千葉市) ※マイクロフィルムあり	34点	徳川氏歴代将軍の朱印状で、本寿寺(現千葉市緑区)等の6寺社に所領を与え、保証した文書である。県庁から移管された。	可
千葉地区	2	千葉県庁採集文書(千葉市)	578点	文書館設立以前に、県関係機関において調査・収集された文書である。明治3年の宮谷県の布令を写した「御触達留」、夷隅郡串浜村(現勝浦市)・印旛郡所沢村(現白井市)関係文書コピーや明治時代刊行の本居宣長著「古事記伝」、国絵図などがある。	可
千葉地区	4	伊藤(平)家文書(市原市) ※マイクロフィルムあり	330点	江戸から明治時代にかけての村上村(現市原市)に関する地方文書と、当家の家政に関する文書で、県庁及び県立中央図書館から移管された。『諸家文書目録4』所収	可

千葉地区	7	旧行屋文書(市原市) ※マイクロフィルムあり	380点	明治時代の金沢区(現市原市)の出羽三山信仰、種神講、村・区入用に関する同区伝来の文書である。『諸家文書目録1』所収	可
千葉地区	11	堀切共有文書(市原市) ※マイクロフィルムあり	9点	江戸から明治時代にかけての出羽三山信仰に関する文書である。『諸家文書目録1』所収	可
千葉地区	13	岡田家文書(市原市) ※マイクロフィルムあり	1,066点	江戸から昭和時代にかけての当家の家政に関する当家伝来の文書で、年代的には、昭和20年代から30年代が中心である。『諸家文書目録1』所収	一部
千葉地区	19	立野家文書(市原市) ※マイクロフィルムあり	4,168点	明治時代の当家に関する文書と、県内の畜産に関する行政文書である。『立野家文書目録』所収	可
千葉地区	23	(株)奈良屋文書(千葉市) ※マイクロフィルムあり	19点	江戸末期から昭和時代にかけての家政や呉服屋経営等に関する当社伝来の文書である。『諸家文書目録3』所収	可
千葉地区	26	永原家文書(千葉市) ※マイクロフィルムあり	6点	江戸時代の暦、五人組帳前書などの当家伝来の文書である。『諸家文書目録3』所収	可
千葉地区	29	千葉県史採集文書(千葉市)	6,063点	旧県史編さん室が、『千葉県史料金石文篇』の編集に際した、金石文の拓本や文書の写真等である。	一部
千葉地区	30	岡田(利)家文書(市原市)	12,147点	当家伝来の分目村(現市原市)に関する名主文書と、家政に関する文書等である。江戸期の年貢や普請関係、明治期の地租改正に関する文書等がある。『岡田(利)家文書目録1』所収	可
千葉地区	39	上村家文書(習志野市) ※マイクロフィルムあり	4点	江戸時代に刊行された当家伝来の和算術の刊本である。当主は熊本県阿蘇郡白水村の出身である。昭和36年に千葉県へ移住した際持参した文書と、移住後に知人から譲り受けた文書がある。『諸家文書目録4』所収	可
千葉地区	41	仲田家文書(千葉市) ※マイクロフィルムあり	175点	江戸から昭和時代にかけての富田村(現千葉市若葉区)に関する名主文書等と家政に関する当家伝来の文書である。ほとんどが家政に関する文書で、当家の土地や家業に関する文書が多い。『諸家文書目録4』所収	可
千葉地区	43	畠家文書(市原市) ※マイクロフィルムあり	13点	江戸時代の漁業関係の文書である。内容は当家と縁戚関係にある備前国児島郡向日比村(現岡山県玉野市)の旧家の文書で、当家が譲り受けたものである。『諸家文書目録4』所収	可
千葉地区	44	苅米家文書(千葉市) ※マイクロフィルムあり	461点	明治から昭和時代の教職・教育・軍役関係に関する当家伝来の文書である。「苅米国松回想伝記」や書簡類などがある。『諸家文書目録4』所収	可
千葉地区	47	大室家文書(市原市) ※マイクロフィルムあり	638点	故大室晃氏が収集した文書である。市原郡(現市原市)の草苅堰に関する文書、土地関係の文書、明治時代の布達等がある。『大室家・中村(信)家文書目録』所収	可
千葉地区	48	中村(信)家文書(市原市) ※マイクロフィルムあり	1,905点	瀬又村・中野村(現市原市)に関する当家伝来の文書である。江戸時代の土地・年貢関係等の名主文書、明治時代の戸長役場文書、中村家の経営に関する文書がある。『大室家・中村(信)家文書目録』所収	可
千葉地区	56	小幡家文書(市原市)	2,903点	江戸から明治時代にかけての加茂村(現市原市)に関する地方文書や、当家が禰宜をつとめた高滝神社関係及び家政に関する当家伝来の文書である。『小幡家文書目録』所収	可

千葉地区	59	稲葉家文書(市原市)	2点	江戸時代の鶴牧藩(現市原市)における武士の犯罪とその処分についての記録を記した当家伝来の「法式を背候類 巻」等である。当家は同藩主水野氏に仕えた家柄である。『諸家文書目録6』所収	可
千葉地区	63	内田家文書(千葉市)	5,098点	千葉県の保健衛生行政に携わった内田早苗が作成・収受したもので、行政文書や医学書、旅券交付申請書等がある。	可
千葉地区	64	片山家文書(千葉市)	48点	徳川家の先祖から家康について記した江戸時代の「三河後風土記」である。新潟県糸魚川市の片山家に伝来した文書を寄託者が譲り受けたものである。『諸家文書目録6』所収	可
千葉地区	74	宇井家文書(千葉市)	91点	江戸から明治時代にかけての名主文書等である。内容は当家と縁戚関係にある光町台の本橋家の文書で当家が譲り受けた。江戸時代の年貢関係等の文書がある。	可
千葉地区	78	坂本家文書(千葉市)	1点	昭和10年に起きた、県立千葉商業高等学校の教員転勤に反対する在校生のストライキに関する文書である。	不可
千葉地区	80	藤代家文書(千葉市) ※マイクロフィルムあり	640点	江戸から明治時代にかけての地方文書等である。当家と縁戚関係にある光町の鈴木家の文書であり当家が譲り受けた。鈴木家は安中藩(現群馬県安中市)藩領の村役人を勤めた家柄で、安中藩発行の年貢受取状や明治期の「中央新聞」や地券などがある。『諸家文書目録5』所収	可
千葉地区	83	富樫家文書(千葉市)	172点	大正・昭和時代に陸軍のパイロットであった寄託者の父が撮影・所蔵していた航空写真等である。『諸家文書目録10』所収	可
千葉地区	85	今関家文書(市原市)	5,209点	明治から昭和30年頃にかけての当家伝来の教科書、刊本及び写真集である。	可
千葉地区	86	若松家文書(千葉市)	2点	江戸時代の市原郡の秣場をめぐる相論の文書と、長狭・山辺郡周辺の鷹場に関する収集文書である。『諸家文書目録11』所収	可
千葉地区	87	君塚村関係文書(市原市)	6点	江戸時代の君塚村(現市原市)に関する文書である。天明7年の検地帳や塩場絵図などがある。『諸家文書目録11』所収	可
千葉地区	93	鎌田家文書(習志野市)	158点	寄託者の生家に伝来した『南総里見八犬伝』の刊本である。	可
千葉地区	96	伊藤(重)家文書(千葉市)	4点	当家の親戚に伝来した刊本類を譲り受けたものである。江戸時代の『詩語碎金』(安永5年刊)、『続詩語碎金』および和歌の刊本二冊である。	可
千葉地区	99	小澤家文書(千葉市)	7点	代々県庁水産課に伝来してきた文書である。明治期における県下の漁業規則等をまとめた「千葉県水産事務沿革」である。	一部
千葉地区	101	高梨家文書(千葉市)	635点	江戸時代の武家文書と昭和時代の椎名村刈田子区(現千葉市緑区)の区政に関する当家伝来の文書である。当家は江戸時代には生実藩藩士、明治からは同区長をつとめた家柄。森川内膳正宛徳川斉昭黒印状や同区の金銭出納帳・土地等に関する文書がある。『諸家文書目録7』所収	可
千葉地区	108	小川(孝)家文書(千葉市)	15点	文政12年の御嶽山への往来を記した「文政十二年己丑三月御嶽行道之記」等の収集文書である。	可

千葉地区	112	安田家文書(八千代市)	84点	江戸から明治時代にかけての地方文書等である。内容は蓮沼村の加瀬家の文書で、同家が絶えたことによつて、その縁戚関係にあたる当家が譲り受けた文書である。明治期の刊本類や嘉永5年の「金銀出入帳」、明治3年「田畑高反別書抜帳」等がある。『諸家文書目録12』所収	可
千葉地区	117	大林家文書(習志野市)	14点	明治時代の当家伝来の武家文書である。当家は鶴舞藩(現市原市)藩士の末裔で同藩に関する文書や、故大林虎次が大蔵省に出仕していた関係で、その職務に関する文書がある。「任鶴舞藩大属」、「任大蔵中録」等がある。	可
千葉地区	122	高橋家文書(千葉市)	2,043点	江戸から明治時代にかけての辺田村(現千葉市中央区)に関する当家伝来の地方文書等である。同家の菩提寺である延命寺に、都村役場がおかれていたところに作成された文書や土地に関する文書がある。	可
千葉地区	135	石田(大)家文書(千葉市)	256点	江戸から明治時代にかけての佐倉市の鈴木家伝来の文書を、当家が譲り受けたものである。江戸後期から明治時代に佐倉、成田で開催された相撲の番付表等がある。	可
千葉地区	143	県立中央図書館旧蔵文書(千葉市)	1,099点	県立中央図書館から移管された「義人佐倉宗吾嘆願書写」や本県の耕地整理に関する文書等である。	可
千葉地区	145	露崎家文書(千葉市)	1,298点	江戸から明治時代にかけての作田村(現いすみ市)に関する当家伝来の名主文書や、内務次官等を歴任した吉原三郎等に関する文書がある。内容は当家の親戚である吉原家の文書であり、当家が譲り受けたものである。	可
千葉地区	146	小西家文書(千葉市)	1点	寄贈者の父が入手した「千葉県管内実測全図」である。	可
千葉地区	154	小宮家文書(千葉市)	6点	当家の親戚が、戦前に古書店から購入した近代の尋常中学校に関する文書である。「明治二十九年度物品出納報告書 書籍の部」「明治三十二年度千葉県尋常中学校経費概算書及概算明細仕訳書」等がある。	可
千葉地区	155	楠原家文書(千葉市)	255点	江戸時代から寒川湊を拠点として海運業を営んでいた、当家伝来の家業に関する文書である。明治13年「諸国道中帳案内」、明治18年「舩御鑑札願」等がある。	可
千葉地区	156	太田家文書(千葉市)	56点	江戸から昭和時代にかけての鶴舞藩(現市原市)に関する武家文書と家業に関する当家伝来の文書である。当家は、鶴舞藩士、木更津県職員で後に県庁の側で理髪店を経営していた。明治3年「鶴舞藩禄世襲二付」、昭和10年「身元引受証」等がある。	可
千葉地区	158	出津町会共有文書(市原市)	2点	出津町会伝来の、明治9年「出津村絵図」である。	可
千葉地区	159	国吉家文書(市原市)	12点	江戸時代の葉木村(現市原市)の国吉家伝来の名主文書である。本文書は県立中央図書館から移管された。江戸時代の年貢割付状である。	可
千葉地区	165	百瀬家文書(千葉市)	-点	江戸時代の信濃国筑摩群百瀬村(現長野県松本市寿豊丘)に関する当家伝来の庄屋文書である。庄屋の職務について記した「庄屋職務覚帳」と「松本城由緒書」の二点である。平成30年度全点返還。複製物での閲覧が可能。	可
千葉地区	166	川上家文書(市原市)	76点	明治～大正期の千葉県巡査関係資料。辞令や賞状等がある。	可

千葉地区	168	小高家文書(市原市)	502点	江戸時代に陸奥国栗原郡真坂村端郷北沢村(現宮城県栗原市)の大肝煎をつとめた菅原家伝来の文書を譲り受けたものである。当家は菅原家の親戚にあたる。大肝煎の職務に関連した年貢・田畑・山林等に関する文書や、明治時代の養蚕等に関する文書がある。	可
千葉地区	170	真部家文書(市原市)	302点	福島県喜多方市の小池家に伝来した江戸期の医師・小池宗碩に関する文書群。薬物書や医書等がある。戦後真部家が小池家から譲り受けた。	可
千葉地区	176	宮葉家文書(千葉市)	3点	江戸時代の当家伝来の金子・土地証文である。天保8年「相渡申質地証文之事」、文久元年「借用申金子証文之事」等がある。	可
千葉地区	183	鶴岡家文書(市原市)	2,416点	佐是村(現市原市)に関する当家伝来の名主文書等である。用水権をめぐる裁判関係の文書群も含まれる。	可
千葉地区	187	浅井家文書(千葉市)	101点	加藤友三郎及び山本権兵衛内閣の首席秘書官等をつとめた故浅井秀将氏に関する文書で、同氏が執筆した原稿や収集した資料等がある。	可
千葉地区	189	川口家文書(千葉市)	1点	鈴木貫太郎から川口為之助あての書簡で昭和22年のものと推測される。川口の千葉県知事当選に対する祝意と関宿町(現野田市)の小学校の六三制への移行について記されている。	可
千葉地区	193	和田(實)家文書(市原市)	1点	江戸時代中期に活躍した俳人の織本花嬌の遺稿を花嬌の玄孫にあたる織本泰が昭和11年に発行した『花嬌遺稿』である。	可
千葉地区	195	島田家文書(千葉市)	5,293点	長沼新田(現千葉市稲毛区)に関する当家伝来の名主文書・戸長役場文書等である。長沼新田の開発・検地・年貢に関する文書や明治時代につとめていた職務(戸長頭取・学区取締・医務取締)に関する文書がある。また、明治時代の新聞・雑誌類も豊富に残されている。寛文12年「[六方野開発裁許絵図]」、延宝4年「下総国葛飾郡長沼新田検地水帳」、明治5年「日新真事誌」等がある。『島田家文書目録』所収	可
千葉地区	197	おとづれ文庫文書(市原市)	33,844点	故池田忠好氏が、古書店から購入した文書や歴史研究に使用した文書等である。古代に筆写された宗教関係の文書、江戸時代の房総の名主文書、明治時代の千葉県の議会や行政に関する文書、商業に関する文書等がある。『おとづれ文庫文書仮目録 上・中・下』所収	可
千葉地区	198	月出町会文書(市原市)	361点	江戸時代から明治時代にかけての月出村(現市原市)の名主文書等である。	可
千葉地区	202	斉藤(清)家文書(市原市)	25点	江戸から明治時代にかけての吉沢村(現市原市)に関する地方文書・戸長役場文書、当家に関する文書である。江戸時代の質地証文が中心である。県立中央図書館から移管されたものである。なお、本文書群は出所が不明であるため、当館での文書名・旧所在地は文書中の旧村名から付した。	可
千葉地区	203	(仮)今井村関係文書(千葉市)	10点	江戸時代の今井村(現千葉市中央区)に関する文書である。江戸時代の質地証文である。県立中央図書館から移管されたものである。なお、本文書群は出所が不明であるため、当館での文書名・旧所在地は、文書中の「今井村」から付した。	可
千葉地区	205	千葉市原郡役所文書(千葉市)	456点	千葉市原郡役所が作成・收受・発信した、国・県庁・郡役所の布達類である。同郡役所は明治11年11月から同30年3月まで存在した。また、明治11年の同郡役所設置以前の文書や、同郡役所が設置した舞鶴出張所が綴った文書がある。県立中央図書館から移管された。なお、出所が不明であるため、文書中の「千葉市原郡役所」から文書名を付した。	可

千葉地区	222	足助家文書(習志野市)	273点	山田久保村(現市原市)に関する当家伝来の名主文書等で、検地帳や年貢割付状等がある。また、明治期には明治村(現市原市)の村長等を務めていたことから、その役職に関わる文書がある。	可
千葉地区	228	和田(多)家文書(千葉市)	1点	寄贈者が千葉県師範学校付属小学校に在学中(昭和初期)、下志津飛行学校(現四街道市)へ遠足に行った際に撮影された記念写真である。背景に飛行機(複葉機)が写っている。	可
千葉地区	238	岩瀬家文書(千葉市)	6点	寄託者の父が所有していた、江戸後期から明治期にかけての仏教関係の刊本である。同人は勝浦市やいすみ市で日蓮宗寺院の住職を務めていた。	可
千葉地区	247	千葉県総合教育センター教育史資料室文書(千葉市)	11,247点	『千葉県教育百年史』の編さん過程において、千葉県教育センター(現千葉県総合教育センター)によって収集された文書群である。このうち、石川倉次に関する1,247点の文書を公開している。	一部
千葉地区	254	峰家文書(千葉市)	157点	地図を専門とする画家、峰庫治によって制作された日本の鳥瞰図・模型図等と、庫治宛の書簡類や庫治に関する写真等である。	可
千葉地区	255	寺嶋(千)家文書(市原市)	2,000点	当家伝来の文書群で、八幡村(現市原市)に関する名主文書と、江戸～昭和期の家業(舟運・醤油醸造・金融等)に関する文書等からなる。	不可
千葉地区	256	鳥海(晋)家文書(千葉市)	87点	武蔵国埼玉郡下新井村の地方文書及び金子証文等の当家伝来の文書群である。	可
千葉地区	257	青木家文書(千葉市)	2,910点	寄託者が古書店から購入した文書群で、当館収蔵の篠原(初)家文書の一部と思われる。堀上村(現東金市)に関する地方文書及び「諸日記」や書簡類がある。	可
千葉地区	266	石橋家文書(千葉市)	3,200点	宮崎村(現千葉市中央区)に関する当家伝来の名主文書等である。検地帳や年貢割付状に加え、明治期の宮崎神社修復関係文書、明治20～30年代の裁判関係文書、明治期～平成の石橋家の家政に関する文書等がある。	不可
千葉地区	267	羽山家文書(千葉市)	120,000点	寄贈者の父である事修氏が約20年かけて調査・作成した千葉県の地名・地誌に関する調査カードである。本文カード、索引カード、フロッピーディスク等から構成されている。	不可
千葉地区	271	伊藤(菊)家文書(市原市)	2,732点	江戸期に村上村(現市原市)の名主を務めた当家伝来の文書群で、村上村地方文書、伊藤家「家」文書等からなる。文久3年「戌皆済目録」や大正7年「村上村土木費収支明細帳」等がある。	可
千葉地区	275	福田家文書(千葉市)	2点	寄贈者が古書店から購入した文書である。明治4年の「宮谷・大多喜両県出張所受持村名一覧」、明治10年の「御回章留」である。	可
千葉地区	282	瀧本家文書(市原市)	1,000点	寄贈者が親戚から譲り受けたもので、菊間藩の藩政等に関する文書、菊間藩の重臣であった岡田家に関する文書、廃藩置県後に組織された旧菊間藩親睦会に関する文書、明治初期の県庁舎の写真等がある。	不可
千葉地区	283	小川(和)家文書(四街道市)	175点	小川家は千葉氏の家臣だったと伝えられており、江戸時代の千葉氏に関する「官途」「九曜星之紋免許」や系図等がある。	可

千葉地区	284	前嶋(道)家文書(千葉市)	30点	明治初期の作成と思われる句集「よし乃土産」「茅野土産」等である。	可
千葉地区	289	岡田(徹)家文書(市原市)	1,920点	沼津(菊間)藩士であった岡田家伝来の文書群である。旧菊間藩の親睦会や明治～昭和期の教育に関する文書及び明治～昭和期の岡田家に関する写真等がある。No282の瀧本家文書の大部分は、岡田家から瀧本家へ譲渡されたものである。	可
千葉地区	294	小澤(克)家文書(千葉市)	184点	庄吉村(茂原市)や南三原村(南房総市)の名主・戸長役場文書や宗教関係文書、上吹入村(芝山町)の「人別宗旨御改帳」等がある。また福島県域の近代文書や復員関係文書等もある。	可
千葉地区	295	倉島家文書(千葉市)	90点	「辞令賞状及感謝状」と記された簿冊に警察・国防婦人関係の辞令や種痘済証など約50点が貼付されている。	可
千葉地区	296	高木(千)家文書(千葉市)	814点	久賀村(多古町)の戸長役場文書や久賀尋常小学校に関する文書等がある。また、雑誌「キング」の原稿もある。	可
千葉地区	298	宇野家文書(八千代市)	200点	「明治十三年縣會日誌」「明治十四年千葉縣會決議録」「育児資金明細簿」等の千葉県における明治期の政治・行政に関する文書がある。	不可
千葉地区	299	千葉川崎製鉄公害訴訟文書(千葉市)	200点	昭和50年から平成4年まで行われた千葉川崎製鉄公害訴訟についての判決及び原告・被告の双方が作成した準備書面や証拠資料等である。	不可
千葉地区	301	實方家文書(八千代市)	28点	「藤原萬喜系図」、天正年間の外他流兵法伝書、神道裁許状等がある。	可
千葉地区	303	森川家文書(千葉市) ※マイクロフィルムあり	520点	生実藩主であった森川家において作成・收受された文書である。森川家系譜、領知目録、絵図等がある。千葉県立中央図書館から移管されたものである。	可
千葉地区	305	櫻井家文書(千葉市)	37点	布川の豪商新井家の文書群である。里見義頼印判状、北条家伝馬手形、仙台藩伝馬手形等がある。	可
千葉地区	307	秋庭家文書(市原市)	1424点	瀬又村・市東村に関する、年貢割付表・地租改正関係文書・瀬又区関係文書等がある。	可
千葉地区	313	旧南総郷土文化研究会所蔵文書(市原市)	7点	南総郷土文化研究会が所蔵していた内田村(市原市)の江戸時代の絵図である。「上総国市原郡矢田郷内田郷林野境論裁許絵図」「上総国市原郡和田村内田村秣場論裁許絵図」等がある。	可
千葉地区	318	手塚家文書(千葉市)	5,000点	寄贈者の父と祖父が撮影・收受した文書群である。戦後から現代にいたる千葉・船橋・習志野・佐倉・八日市場などの景観写真のほか、旧制匠瑳中学などの学校教育関係資料、明治期の迅速図をはじめとする地図などがある。	不可
千葉地区	319	(株)千葉日報社文書(千葉市)	5点	千葉新聞社(千葉日報社に吸収合併)が作製したニュース映画「千葉ニュース」である。昭和20年代に作製されたもので、天皇皇后陛下の御来葉・参議院議員選挙・両総用水の工事・出初式・競輪などの映像が記録されている。	不可
千葉地区	320	田谷文書(千葉市)	9点	『汐騒起』9巻である。同書は、野村勝氏が原稿用紙に手書きしたもので、千葉市千葉漁業協同組合が漁業水域としていた千葉市黒砂町から川崎町までの京葉臨海工業地帯造成にともなう海面埋め立てについて、昭和27年ごろから昭和38年までの埋め立て交渉・埋め立て反対漁民大会・漁業補償などが詳細に記されている。	不可

千葉地区	325	梅澤家文書(千葉市)	811点	明治期の喜多村(市原市喜多)に関するものが多く含まれている。県庁の新築・壽福寺・喜多神社に関するもの他、県庁布達や紅茶製法書等がある。	可
千葉地区	326	廣石家文書(千葉市)	101点	故廣石権三氏に関するもので、南方占領の状況を示すシンガポールの写真、千葉労働学院の受講ノート・グアム島での未帰還兵の調査活動の綴りである「グアム島関係綴」等がある。	不可
千葉地区	331	山崎家文書(市原市)	1点	江戸幕府の鷹狩について記された「御鷹狩御用帳」(宝暦6年)である。鷹匠の山武地域の鷹場への来村にともない、同地域の板川・中津田・埴谷などの村々への宿の賄いやヒバリ(鷹の餌)の提供等が記されている。	不可
千葉地区	333	久保田家文書(千葉市)	100点	寄贈者の久保田氏が岩野氏から購入したものである。岩野家の岩野直英・直美・廣美は、いずれも旧海軍の軍人であったことから関連の文書が伝来している。研究実験成果の報告書である「潜水艦用電動機使用可能裁定電圧確認試験」や「クロム酸電気防蝕法ニ関スル研究」等がある。	不可
千葉地区	341	露崎(達)家文書(千葉市)	533点	内務大臣等を歴任した吉原三郎の追懐録を刊行するために露崎彌氏が収集した文書等である。吉原三郎や大隈重信の書簡、千葉県関係の絵葉書等がある。	可
千葉地区	342	大川家文書(千葉市)	17点	地図製作者の峰庫治から譲り受けたものである。「千葉県新大地図」「全国鳥瞰図」等がある。	不可
千葉地区	345	朝生原町会文書(市原市)	1000点	江戸時代から昭和戦前期までのもので、地租改正に伴って作成された一筆限帳・丈量簿・野帳等がまとめて残されている。明治7(1874)年の朝生原村と黒川村の絵図もある。	不可
千葉地区	346	清宮家文書(佐倉市)	500点	清宮総平が収集・執筆したもので、文化的なものが多い。尾上村(酒々井町尾上)の「郷誌」や総平が記した短歌集「詠草」等がある。	不可
千葉地区	349	澁川家文書(習志野市)	7000点	紙資料収集家の澁川定夫氏が収集した資料の一部で、幕末～昭和30年頃の新聞である。大手新聞社のもののほか、中外新聞・明治新聞・海外新聞・郵便報知新聞等がある。千葉県の新聞には、木更津新聞(複製)・千葉新聞輯録・千葉新報等がある。	不可
千葉地区	350	江波戸家文書(千葉市)	120点	寄贈者が収集・保管していた明治期～昭和期を中心とする文書群である。千葉県で最初に写真館を開いた豊田尚一と、尚一の子である今井直の写真館で撮影された古写真が中心で、その多くが肖像写真である。	不可
千葉地区	357	太田(薫)家文書(市原市)	4点	第32師団第211連隊第1大隊第3中隊に関する資料が中心である。第3中隊関係者からの依頼で、関係者らの手記等をもとに、中国戦線から南方戦線までの戦闘状況や中隊内での生活の様子をまとめた冊子である「[第3中隊回想記]」などがある。	不可
千葉地区	363	自治労連千葉県本部文書(千葉市)	40点	日本自治体労働組合総連合千葉県本部(自治労連)が所蔵していた、昭和40年代～50年代の単位組合の定期大会における議案書・報告書である。	不可

東葛飾地区(市川市、船橋市、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
東葛飾地区	71	吉田家文書(柏市)	123点	明治時代の豊四季地区(現柏市)に関する当家伝来の開墾会社関係文書である。豊四季地区の開墾に関する文書や証文、家政に関する文書がある。『諸家文書目録6』所収	可
東葛飾地区	97	本島家文書(柏市)	1点	江戸から明治時代にかけての当家伝来の武家文書等。当家は、江戸時代後期に佐賀藩主鍋島氏の側近をつとめた家柄、本島藤大夫は同藩の軍事近代化政策を行った人物で、軍事近代化の時代を後年になってまとめた「松乃落葉」や、当家の系図、寛政3年の諫早一揆の写である「肥諫実録」等である。平成30年7月に全74点を返還した。複製物を閲覧等の利用ができる。その後、同家文書は佐賀県立佐賀城本丸歴史館に寄贈された。	可
東葛飾地区	163	宮前家文書(柏市)	1点	寄託者が購入した文書である。江戸時代の北尾派の浮世絵師北尾政美の作と思われる「略画帖」である。	可
東葛飾地区	167	氏原家文書(船橋市)	1点	寄託者が購入した弘化4年頃の「當生改算記」で、算学の問題・解答集である。	可
東葛飾地区	179	横田家文書(柏市)	20点	寄託者の父に関する当家伝来の文書である。昭和時代の「任命書(任鉄道局書記)」、「要鑑(東京鉄道管理局)」、昭和18年「戦時貯蓄債券」等がある。	可
東葛飾地区	184	蒲田家文書(柏市)	1点	当家伝来の「元寛日記」の一部を写したもの。「元寛日記」とは、日記体に編集された元和元年から寛永20年に至る江戸幕府の記録である。	可
東葛飾地区	200	綿貫家文書(松戸市)	36点	小金牧の野馬奉行兼牧士支配を務めた当家伝来の文書群である。県立中央図書館から移管された。	可
東葛飾地区	212	鎌倉家文書(船橋市)	4,435点	梅澤芳男から譲り受けた、上総道学に関する刊本・写本・稿本等である。梅澤は上総道学の研究者であり、その研究過程で収集されたのが当文書群である。なお、当館収蔵のNo.186山口家文書・No.259山口(節)家文書も、同じく梅澤の旧蔵書を中心とした文書群である。	可
東葛飾地区	213	右島家文書(船橋市)	503点	漢籍や書道に関する当家伝来の文書である。「端硯譜」「篆隸十体千字文」等がある。	可
東葛飾地区	249	木谷家文書(船橋市)	67点	寄託者の祖父鈴木竹麿及び曾祖父鈴木亦人に関する文書群で、鈴木家の医業に関する文書や大槻磐溪・斎藤実の書簡等も見られる。	可
東葛飾地区	253	鍵山家文書(船橋市)	70点	本県の福祉関係の文書である。	不可
東葛飾地区	263	小柴家文書(船橋市)	42点	成田山新勝寺参道で土産物店を営んでいた京須家に伝来した文書群で、縁戚にあたる当家が譲り受けたものである。成田街道普請に関する文書のほか、ステレオスコープ(立体写真鏡)と大正博覧会等の立体写真等がある。	可
東葛飾地区	264	後藤(健)家文書(我孫子市)	423点	明治38年から千葉県技手・工手を勤めた後藤政治や、政治の子の隆三等が作成・收受した文書群である。明治40年に着工した県庁舎改築に関する仕様書や図面、また東宮(後の大正天皇)行啓記念や千葉県共進会の絵はがき等がある。	可
東葛飾地区	269	桜田家文書(松戸市)	6点	寄贈者が、昭和18年、防空監視哨々員に任命された時に交付を受けた「指定書」及びその腕章・襟章である。	可

東葛飾地区	336	ちば野菊の里浄水場文書(松戸市)	1点	旧古ヶ崎浄水場の概要を記した掲示物で、同浄水場の給水区域・給水人口・給水量・水源・取水塔・沈澄池・浄水池等について記されている。	不可
東葛飾地区	338	植草家文書(習志野市)	5点	植草家に伝来した神道裁許状である。同家は、千葉郡久々田村(習志野市津田沼)の菊田神社の宮司を代々務めていた。	不可
東葛飾地区	348	湊家文書(市川市)	574点	湊家は、戦国時代には出羽国秋田湊城主であり、江戸時代には秋田藩佐竹家に仕えた。伝来の古文書は、戦国時代～明治時代以降のもので、「織田信長朱印状」(天正3<1575>年)、「前田利家連署書状」(天正18<1590>年)等がある。	可

印旛地区(佐倉市、成田市、四街道市、八街市、印西市、富里市、印旛郡)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
印旛地区	12	石井家文書(富里市) ※マイクロフィルムあり	1,142点	江戸から明治時代にかけての根木名村(現富里市)に関する名主文書等と、家政に関する当家伝来の文書である。『諸家文書目録1』『諸家文書目録9』所収	可
印旛地区	35	後藤家文書(四街道市) ※マイクロフィルムあり	55点	江戸末期から明治時代にかけて刊行された当家伝来の刊本である。教科書として使用されたものが多い。『諸家文書目録3』所収	可
印旛地区	36	飯嶋家文書(栄町) ※マイクロフィルムあり	77点	江戸から明治時代にかけての武家文書等である。内容は本多氏の家臣木村家の文書で、当家は木村家と縁戚関係であるため、これらの文書を譲り受けた。知行宛行状や木村家の系譜、俳諧関係の文書がある。『諸家文書目録3』所収	可
印旛地区	38	斉藤(き)家文書(佐倉市) ※マイクロフィルムあり	14点	江戸時代の用水・助郷・鷹場に関する日記や御用留の断簡等の文書である。内容は武蔵国荏原郡六郷領(現東京都大田区)のものである。『諸家文書目録4』所収	可
印旛地区	49	香取家文書(印西市) ※マイクロフィルムあり	49点	大正から昭和時代にかけての近代の土地に関する当家伝来の文書である。当家は江戸時代前期に惣深新田(現印西市)を開発した草分け的な家である。終戦時の農地制度関係法令集や地図類等がある。『諸家文書目録5』所収	可
印旛地区	53	湯浅家文書(栄町)	-点	矢口村(現栄町)に関する当家伝来の地方文書である。平成5年度全点返還	不可
印旛地区	58	久保木家文書(四街道市)	8,654点	寄託者が歴史研究の過程で収集したもので、香取市の高塚家の文書、香取神宮社務に関する文書等である。また、多種多項目にわたる新聞スクラップもある。	可
印旛地区	60	木村家文書(佐倉市)	98点	江戸時代の当家伝来の武家文書である。当家は幕末に佐倉藩の兵制改革を推進した木村軍太郎の末裔である。当家の家系図や軍太郎に関する文書がある。『諸家文書目録6』所収	可

印旛地区	65	大谷家文書(成田市)	43点	江戸から明治時代にかけての大原村(現多古町)に関する当家伝来の名主文書等である。江戸時代の年貢・土地関係、家政に関する文書がある。『諸家文書目録6』所収	可
印旛地区	147	檜貝家文書(四街道市)	7点	寄贈者の祖父が購入した「鼈頭音釋康熙字典」6冊等である。	可
印旛地区	162	篠原家文書(佐倉市)	34点	寄託者が購入した文書である。「東照宮御伝記」20冊、歌舞伎に関する刊本約10冊である。	可
印旛地区	169	北詰家文書(佐倉市)	577点	寄託者が購入した地方文書である。酒々井町中川の岡田家文書とその他の地方文書である。寛延4年「中川村田畑地引帳」、明治6年「丑御年貢未進帳」等がある。	可
印旛地区	207	藤代(國)家文書(佐倉市)	258点	医師に濱野昇が作成・収集した医療に関する文書群。「[千葉県医会総会発会式祝辞草稿]」等がある。	可
印旛地区	209	千葉県手賀沼土地改良区文書(印西市)	2,743点	手賀沼の干拓、災害の復旧、周辺の村々の農地の整備、排水機場の設置等に関する同区伝来の文書である。「明治三十四年度字六軒堀込樋前浚渫工事日誌」等がある。	可
印旛地区	225	鈴木(俊)家文書(佐倉市)	166点	鈴木省吾の履歴や職務に関する文書群である。尋常小学校の卒業証書や、千葉県巡査・長生郡書記・市原郡書記・千葉県書記等の辞令類がある。	可
印旛地区	229	石渡家文書(佐倉市)	421点	高崎村(現佐倉市)及びその周辺地域に関する当家伝来の文書群である。明治期の文書が多く、地租改正に関する文書が比較的まとまって残っている。明治13年「山林旧番号取調帳」、「山林新地券証引換紙代入費請取帳」等がある。	可
印旛地区	244	岩淵家文書(印西市)	1点	明治15年「新選規矩階梯 人」(宮大工の仕事に関する入門書)である。	可
印旛地区	252	石井(千)家文書(佐倉市)	1,067点	佐倉藩士で、明治期に文芸家として活躍した依田学海と、その長男美狭古に関する文書群で、依田家から寄託者が譲り受けたものである。明治～大正期の書画・書簡・写真・日誌・詩文集等がある。石井(豊)家文書は、平成28年5月に石井(千)家文書と名称を変更した。	可
印旛地区	274	外山家文書(佐倉市)	11点	寄贈者が古書店から購入した文書群で、明治期の香取郡篠原村(現香取市篠原)の土地台帳・名寄帳等である。	可
印旛地区	283	小川(和)家文書(四街道市)	175点	江戸時代における千葉氏の旧臣としての文書や田畑名寄帳等がある。	可
印旛地区	330	齋藤(美)家文書(八街市)	1点	用草村(八街市)の名主を務めた齋藤家に伝来した「公方様於小金中野牧御鹿狩」である。小金牧の鹿狩の記録であり、嘉永2年3月から4月までの人足の動向や、鹿狩の獲物の減少のためあらかじめ各村が養育を割り当てられていた鹿・猪・うさぎ・むじなの数等が記されている。	可
印旛地区	340	石渡(千)家文書(成田市)	100点	昭和13年に徴兵された石渡千人氏に関する文書である。同氏は中国の厦門や、フィリピンのミンダナオ島・レイテ島に駐屯し終戦を迎えた。徴兵の証書、所属した部隊の写真アルバムや名簿、自動車運転試験の図面などがある。	不可
印旛地区	356	林家文書(佐倉市)	20点	寄贈者が古書店等から購入したものである。初代千葉県知事の柴原和が明治10年1月にまとめたもので、これまでの県政の成果と今後の方針を示した「県治実践録」や、千葉県が大正11年4月に編さんした「千葉県要覧」などがある。	不可

印旛地区	361	喜多家文書(成田市)	500点	寄贈者が収集・保存していた文書群である。3つの異なる出所を持つ文書群で、①市原郡月崎村(市原市)の明治以降の土地金融関連文書など、②長柄郡桜谷町(長柄町)の近世の農業経営や近代以降の養蚕組合関係文書など、③印旛郡師戸村(印西市)の近世～明治期の役場関係文書などがある。	不可
------	-----	------------	------	--	----

香取地区(香取市、香取郡)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
香取地区	17	鹿野戸区有文書(東庄町) ※マイクロフィルムあり	1,877点	安土桃山から明治時代にかけての鹿野戸村(現東庄町)に関する同区伝来の文書である。『諸家文書目録3』所収	可
香取地区	31	菅谷家文書(香取市) ※マイクロフィルムあり	215点	江戸から明治時代にかけての貝塚村(現香取市)に関する名主文書等と、家政に関する当家伝来の文書である。その他に往来物の写本などがある。『諸家文書目録4』所収	可
香取地区	66	小川(行)家文書(多古町)	2,532点	檜木村(現多古町)に関する当家伝来の名主文書等である。江戸時代の年貢・土地関係の文書、明治時代の新治県・千葉県の出達や家政に関する文書がある。『諸家文書目録6』所収	可
香取地区	75	小南区有文書(東庄町)	6点	江戸時代の小南地域の絵図等である。『諸家文書目録8』所収	可
香取地区	76	並木家文書(多古町)	25点	江戸から明治時代にかけての御所台村(現多古町)に関する当家伝来の名主文書等である。江戸時代の蹴鞠関係文書及び大福帳である。『諸家文書目録9』所収	可
香取地区	123	石井(榮)家文書(香取市)	14点	昭和時代の故石井庄次郎の職務に関する当家伝来の文書である。同人は神里村(現香取市)役場職員であり、昭和6年佐原・笹川間鉄道開通式に携わった人物である。元千葉県知事岡田周蔵や元神里村長諏訪寛らの祝辞がある。	可
香取地区	191	高橋(延)家文書(多古町)	3点	明和6年刊の「増字百倍 早引節用集」と弘化4年刊の「正字玉篇大全」である。	可
香取地区	215	佐藤(友)家文書(多古町)	349点	江戸期から雑穀商・酒造業等様々な商売を営んでいた当家伝来の文書群である。証文・領収書類が多い。また、昭和初期の自動車展示会のパンフレット等もある。	可
香取地区	230	五反田区有文書(多古町)	1,453点	五反田村(現多古町)に関する同区伝来の文書群である。江戸末期の「年貢皆済目録」、明治2年「村高明細帳」、明治6年「御廻達書留」、明治9年「違式・違条例」等がある。また、明治期の地租改正関係の文書もある。	可
香取地区	270	栗野区有文書(東庄町)	30点	同区伝来の文書群である。延享4年「栗野村裁許絵図」、明治21年「香取郡栗野村全図」等、近世・近代の絵図類が主である。	可

香取地区	272	越川家文書(多古町)	18点	当家伝来の文書群である。江戸時代の多古村(現多古町)の間屋に関する文書、江戸時代に松山村(現匝瑳市)の村役人が多古村の村役人にあてた覚書等がある。	可
香取地区	302	平塚家文書(香取市)	5,000点	佐原の呉服商「福新呉服店」の経営に関する文書で、明治以降のものが多い。香取郡織物小売商業組合に関する資料、広告類、「佐原勉強商店双六」等がある。	不可
香取地区	306	並木区有文書(神崎町)	677点	並木村・並木区において作成・收受された文書で、年貢割付・検地帳・境論絵図等がある。	可
香取地区	317	渡辺(摂)家文書(多古町)	2点	久賀村(多古町の一部)青年団により、活動の一環として昭和21年及び22年に発行された『久賀青年』(第一輯・第二号)である。	不可
香取地区	321	並木(潤)家文書(香取市)	2,000点	香取市佐原の並木家に伝来したものである。同家は佐原の忠敬橋のたもとで中村屋の屋号で畳表や雑貨などを商っていた。明治初期から昭和30年頃までの仕入れや販売の帳簿などがある。	不可
香取地区	328	平川家文書(多古町)	16点	寄贈者の平川氏が近隣の林家から譲り受けたものである。林家は南中村(多古町)の名主を務めた。江戸時代の文化・文政期の名主業務や同家の家政に関するもので「役日記」「萬日記」等である。	可
香取地区	332	向後家文書(東庄町)	4,000点	夏目村の名主や東城村(いずれも東庄町)の町長などを務めた向後家で作成・收受された文書である。「下総の国香取郡小南村下榑新田検知水帳」や「太田御用留」等がある。	不可
香取地区	337	谷津区有文書(東庄町)	1,378点	東庄町谷津区に伝来したもので、中世から近代にかけての文書である。県指定文化財の「下総国香取郡東庄郡郷枝谷野帳」や、「谷津村午新畑水帳」等がある。	可
香取地区	360	岡野家文書(香取市)	500点	香取市小見川の岡野家に伝来したものである。同家は江戸時代に在地代官や割元、名主等を務め、明治以降は商売や授産施設の運営等にも携わった。「小見川原地新田検地帳」や「内田信濃守正信公御真筆」、「大清国船之図」などがある。	不可

海匝地区(銚子市、旭市、匝瑳市)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
海匝地区	9	宮城家文書(銚子市) ※マイクロフィルムあり	13,080点	江戸から大正時代にかけての船荷問屋の経営に関する当家伝来の文書である。明治期における利根川を利用した九十九里地方から東京方面への舟運に関する文書がある。『宮城家文書目録上・中・下』所収	可
海匝地区	37	高木家文書(旭市)	2,581点	昭和48年刊行の『古城村誌』(現旭市)編さんのために収集した文書である。鍋木村・万力村(現旭市)の宗門人別帳や五人組改帳等の文書がある。	可
海匝地区	50	勝股家文書(匝瑳市) ※マイクロフィルムあり	370点	江戸から大正時代にかけての長岡村(現匝瑳市)に関する名主文書等である。江戸時代の土地・年貢関係の文書がある。『諸家文書目録5』所収	可
海匝地区	51	寺井家文書(銚子市)	201点	昭和5年9月に発生した高神村事件に関する文書等である。『諸家文書目録6』所収	可

海匝地区	110	加瀬家文書(匝瑳市)	17点	昭和30年代に長岡区有文書を整理した際に、当家が同区から譲り受けた文書である。近世の算学に関する文書や、明治期における報親講に関する文書がある。	可
海匝地区	118	織田家文書(旭市)	557点	寄贈者が飯岡町役場から譲り受けた明治から昭和時代にかけての文書と、寄贈者の妻の実家の宮野家から譲り受けた文書と、寄贈者の母の実家の絵鳩家から譲り受けた文書である。関東大震災時の「関東戒厳指令官命令」や震災についての救護・治安維持に関する「告諭」がある。『諸家文書目録12』所収。	可
海匝地区	138	齊藤(衛)家文書(匝瑳市)	11点		不可
海匝地区	219	石田(利)家文書(匝瑳市)	278点	石田家は江戸時代に西栢田村(現匝瑳市)の名主を務め、寺小屋も開いていたことから、名主文書のほか、刊本類も残されている。	可
海匝地区	220	土屋(昭)家文書(匝瑳市)	639点	今泉村(現匝瑳市)に関する当家伝来の名主文書等である。年貢や土地関係文書のほか、明治期の鰯漁に関する文書や証書類等もある。	可
海匝地区	232	鍋木家文書(旭市)	-点	当家伝来の文書群で、慶長9年「下総国香取郡北条之庄鍋木郷御縄打水帳」14冊である。平成30年度に全点返還。複製物での閲覧が可能。	可
海匝地区	235	小川(清)家文書(匝瑳市)	430点	米倉村(現匝瑳市)に関する文書群で、当家伝来の文書と縁戚にあたる伊東家から譲り受けた文書からなる。両家とも名主や戸長を務めていたことから、これらの役職に関する文書が伝わっている。延宝4年「下総国匝瑳郡南條庄米倉村縄打帳」、明治10年「大区達」等がある。	可
海匝地区	236	宇井(信)家文書(匝瑳市)	24点	明治13年「地券」(東小笹村=現匝瑳市)1点と、明治30年「裁縫教科書」3冊からなる。寄贈者の祖母実家である林家に伝来した文書群である。昭和30年代の引揚げに関する文書や明治～昭和期の辞令等もある。	可
海匝地区	237	千本松家文書(旭市)	6点	揚操網等について記した産業上の履歴と明治38年第9回関東区実業大会への賛助の礼状、および喜助についての記述がある『明治忠孝節義伝』である。	可
海匝地区	261	大津家文書(匝瑳市)	14点	当家伝来の文書と蓮花寺(匝瑳市)伝来の文書から構成されている。「マレー沖海戦」をはじめとする第二次大戦中の紙芝居8組と、学童疎開の際の「家屋賃貸借契約書」及び関連の写真等である。	可
海匝地区	310	伊藤(惣)家文書(匝瑳市)	1点	「八日市場・籠辺田・下富谷村悪水争論裁許絵図 写」である。元禄8年に作成されたものの写しである。	可
海匝地区	351	越川(行)家文書(銚子市)	1004点	寄贈者の父の越川芳麿が収集・保管していた文書群である。太平洋戦争時にアメリカ軍が撒いた伝単と、政府が発行した点数制の衣料切符がある。「極東新聞」「東日本新聞」や国語学者であった松井簡治の書簡などもある。	不可
海匝地区	359	高森家文書(銚子市)	23点	国文学者の松井簡治らが編さんしたもので、初版は大正4年～同8年にかけて刊行された日本最初の近代的な大型国語辞典とされている『大日本国語辞典』とその関連資料が中心である。『松井博士古希記念論文集』などがある。	不可

山武地区(東金市、山武市、山武郡)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
山武地区	3	鈴木家文書(東金市) ※マイクロフィルムあり	70点	明治時代に、山辺・武射郡農事通信掛をつとめた鈴木金兵衛が在職時に作成した職務に関するもので、県庁から移管された文書である。『諸家文書目録2』所収	可
山武地区	6	前嶋家文書(東金市) ※マイクロフィルムあり	16,409点	安土桃山から明治時代にかけての台方村(現東金市)に関する名主文書等と、当家の商業や家政に関する県立中央図書館から移管された文書である。『前嶋家文書目録1～5』所収	可
山武地区	8	清水家文書(東金市) ※マイクロフィルムあり	6点	江戸時代の支配や牧に関する収集文書である。『諸家文書目録1』所収	可
山武地区	10	伊藤家文書(横芝光町) ※マイクロフィルムあり	3,664点	江戸から明治時代にかけての家政に関する当家伝来の文書である。『伊藤家文書目録』所収	可
山武地区	14	斉藤家文書(横芝光町) ※マイクロフィルムあり	956点	江戸から昭和時代にかけての北清水村(現横芝光町)に関する地方文書等と、この地域の金融機関であった共殖貯金会や、家政に関する当家伝来の文書である。『諸家文書目録1』所収	可
山武地区	22	中村家文書(横芝光町) ※マイクロフィルムあり	1,057点	江戸から大正時代にかけての名主文書等である。内容は宇那谷村(現千葉市花見川区)の小沢家文書であり、当家が譲り受けたものである。地境・用水出入、助郷出入、年貢関係や諸賄帳等の文書がある。『諸家文書目録2』所収	一部
山武地区	32	古川家文書(東金市) ※マイクロフィルムあり	54点	東金市内の飯田家で収積された刊本類を当家が譲り受けたものである。『日本外史』、『国史略』、『孟子』等がある。『諸家文書目録3』所収	可
山武地区	34	安井家文書(山武市)	-点	県内最初の鉄道である総武鉄道の建設に尽力した安井理民に関する当家伝来の文書である。昭和63年度全点返還。	不可
山武地区	40	小川家文書(芝山町) ※マイクロフィルムあり	521点	江戸から明治時代にかけての菱田村(現芝山町)に関する名主文書等と家政に関する当家伝来の文書である。村役人の任命書や年貢関係の文書がある。『諸家文書目録4』所収	可
山武地区	42	志賀家文書(東金市) ※マイクロフィルムあり	1,285点	江戸から昭和時代にかけての押堀村(現東金市)に関する名主文書等と東金町会議員・山武郡会議員・千葉県会議員等をつとめた志賀吾郷に関する文書、家政に関する当家伝来の文書である。『諸家文書目録4』所収	可
山武地区	52	内山家文書(大網白里町)	2,416点	江戸から大正時代にかけての四天木村(現大網白里町)に関する当家伝来の名主文書等である。土地や年貢関係の他に、四天木村が海に面していることから漁業関係の文書もある。	可
山武地区	57	神保家文書(横芝光町) ※マイクロフィルムあり	1,050点	江戸から明治時代にかけての小堤村(現横芝光町)に関する当家伝来の名主文書等である。また、当家は戦国時代坂田城(同町)城主である井田氏の家臣であったことから中世文書の写、江戸時代の家政や俳諧関係の文書がある。『諸家文書目録5』所収	可
山武地区	61	土屋家文書(東金市)	6,584点	江戸から大正時代にかけての菱沼村(現東金市)に関する当家伝来の名主文書等である。また、大正時代に豊成村(同市)の村長をつとめた関係上、その職務の文書がある。『土屋家・菱沼区有文書目録』所収	一部

山武地区	62	菱沼区有文書(東金市)	1,798点	江戸から昭和時代にかけての菱沼村に関する同区伝来の文書である。江戸時代の土地・年貢・水論関係の文書がある。『土屋家・菱沼区有文書目録』所収	可
山武地区	67	有原家文書(東金市)	6,671点	台方村(現東金市)に関する当家伝来の名主文書等である。江戸から大正時代の年貢・土地、家政等に関する文書がある。『有原家文書目録上・下』所収	可
山武地区	82	大高家文書(山武市)	63点	江戸時代の山武地方における俳諧の中心人物であった大高亀足が編集した当家伝来の「亀足集」である。『諸家文書目録10』所収	可
山武地区	88	鶴沢(金)家文書(東金市)	125点	江戸時代の上谷村・下谷村・下谷新田(現東金市)に関する文書である。年貢関係の文書がまとまっている。『諸家文書目録11』所収	可
山武地区	94	石田家文書(東金市)	236点	江戸から明治時代にかけての二又村(現東金市)に関する当家伝来の地方文書等である。当家は東金酒井氏の家臣と伝えられている。明治初期に医師として活躍し、北海道の開拓も行った関寛斎の書簡も含まれている。『諸家文書目録7』所収	可
山武地区	98	斉藤(功)家文書(九十九里町)	258点	明治期の山辺郡公立池田小学校に関する文書や、山辺・武射郡役所に関する文書である。『諸家文書目録11』所収	可
山武地区	109	村井(淳)家文書(九十九里町)	151点	明治30年代から40年代の総武鉄道会社の土地利用、土地登記に関する当家伝来の収集文書である。故村井宗七郎が、同鉄道の創設に関わった関係上、作成された文書である。	可
山武地区	115	麻生家文書(山武市)	5,406点	戸田村(現山武市)に関する当家伝来の名主文書等である。江戸時代の「村差出明細帳」や明治初期の「御用留」等、戸田村の村政・年貢・土地・地租改正等に関する文書がある。	可
山武地区	132	三浦家文書(大網白里町)	985点	寄託者が購入によって収集した文書群である。大原町沢部の峯嶋家文書、一宮町の渡辺家文書、宮川村(現横芝光町)役場文書、明治24年9月作成の「自由倶楽部議員総会決議録」などである。	一部
山武地区	136	安達家文書(東金市)	26点	江戸から明治時代にかけての当家伝来の家政に関する文書である。「浅野伊賀守宛書状(陸軍奉行並被蒙仰に付)」「深秘集(符呪の書の写)」がある。	可
山武地区	148	鈴木(艶)家文書(山武市)	203点	江戸から明治時代にかけての当家伝来の家業に関する文書である。当家は、江戸時代から開業医であった。嘉永5年「傷寒雑病気類方」、明治6年「積金仕用連名帳」等がある。	可
山武地区	149	若林家文書(山武市)	4,494点	掛川(現静岡県掛川市)・柴山(現芝山町)・松尾藩主太田氏の重臣であった当家伝来の武家文書等である。	可
山武地区	151	齋藤(雄)家文書(横芝光町)	11,000点	嘉永期から鍛冶屋を営んでいた当家伝来の家業に関する文書である。鍛冶屋の経営や金融に関する文書がある。	不可
山武地区	152	平山家文書(横芝光町)	1,201点	江戸から明治時代にかけての長倉村(現横芝光町)に関する当家伝来の名主文書等である。同村の村政や年貢等に関する文書がある。文久元年「酉御年貢押切帳」「大正拾年度山武郡大総村予算書」等がある。	可

山武地区	153	怒賀家文書(横芝光町)	969点	中台村(現横芝光町)に関する当家伝来の名主文書等である。明治期からの文書も多く伝わっている。「明治五年租税皆済帳」「明治八年租税割符帳」等がある。	可
山武地区	161	鈴木(静)家文書(横芝光町)	609点	牛熊村(現横芝光町)に関する当家伝来の名主文書等である。「午改上総国山武郡牛熊村田畑名寄帳」「辰年田畑内見帳」等がある。	可
山武地区	172	伊藤(毅)家文書(山武市)	863点	当家伝来の文書群で、江戸期には松ヶ谷村(現山武市)の名主を、明治期以降、緑梅村(同市)村長・郵便局長、山武郡会議員等を務めたことから、それらに関する文書からなる。慶応元年「丑御年貢割付帳」、「電信電話架設寄附帳」等がある。	可
山武地区	173	佐藤家文書(山武市)	268点	江戸時代の地方俳諧、和算、上総道学に関する当家伝来の文書である。「永代大奉額句集」「算法記」等がある。	可
山武地区	174	慶増家文書(山武市)	3,961点	木原村に関する当家伝来の名主文書等である。江戸後期の年貢割付状や牧に関する資料等々がある。	可
山武地区	180	竹内家文書(大網白里町)	21点	大網村(現大網白里町)に関する同家伝来の文書で、江戸～明治時代の土地関係の帳簿及び江戸時代の力士・勝の浦甚五郎に関する史料等がある。	可
山武地区	181	横左内家文書(大網白里町)	530点	江戸時代から平成にかけての富田村(現大網白里町)の名主文書や戸長役場文書等である。	可
山武地区	186	山口家文書(山武市)	5,925点	寄託者が、叔父の梅澤芳男から譲り受けた、上総道学に関する版本・写本・稿本である。梅澤は上総道学の研究者であり、この研究に伴い収集した文書である。なお、当館収蔵のNO.212鎌倉家文書・NO.259山口(節)家文書も、同じく梅澤の旧蔵書である。	可
山武地区	188	中村(太)家文書(九十九里町)	-点	江戸から明治時代にかけての真亀村(現九十九里町)に関する当家伝来の名主文書等である。年貢、土地関係の他に同村絵図や塩場に関する文書がある。宝暦7年「塩場立入人数覚書帳」、「真亀村絵図」等がある。平成29年3月に全点(185点)を返還した。複製物を閲覧等の利用ができる。	可
山武地区	190	作田家文書(九十九里町)	2,453点	作田村(現九十九里町)に関する当家伝来の網主・名主文書等である。当家は漁業の傍ら、明治期から醤油醸造業も初めており、これらの家業に関連した文書や、寺子屋に関する文書もある。また、蓮沼村の網主に關する文書もある。	可
山武地区	196	飯高家文書(大網白里町)	465点	四天木村(現大網白里町)の名主であり、「丸山網主」も務めた古内家の文書群を当家が譲り受けたものである。四天木村の村方文書、近代漁業(丸山網主)関係文書、近代醤油醸造業関係文書等がある。また、古内家の縁戚にあたる村田家及び当家に関わる文書もある。	可
山武地区	199	鈴木(亘)家文書(東金市)	265点	明治時代から昭和にかけての東金村・正気村・豊岡村・福岡村(現東金市)の戸長役場文書や東金銀行に関する文書等である。。	可
山武地区	204	木村(久)家文書(東金市)	30点	江戸時代の大豆谷村(現東金市)に関する地方文書である。県立中央図書館から移管されたものである。本文書群は、出所が不明であるため、文書中の旧村名から付した。当家は、江戸時代には割元名主をつとめていた。「水野日向守様当申御年貢請取申事」「割元役申付書」等がある。	可

山武地区	206	富家文書(東金市)	4,908点	当家伝来の文書で宗教や教育に関する文書、絵画・俳句に関する文書等である。また、当家は、明治期まで船橋市意富比神社(船橋大神宮)の大宮司であったことから意富比神社に関する文書もある。	可
山武地区	208	伊藤(正)家文書(芝山町)	135点	地方俳諧や当家の家政に関する当家伝来の文書である。明治12年「旅笠帳」や地券等がある。	可
山武地区	210	篠原(初)家文書(東金市)	2,176点	当家伝来の文書群で、近世期の名主文書群のほか、近代期の戸長役場文書群も包括している。また、上総道学や家業に関する文書も残されている。	可
山武地区	211	佐久間家文書(九十九里町)	232点	当家伝来の文書群で、不動堂村(現九十九里町)及び周辺地区の字限図、香典帳や領収書といった当家の家政にかかわる文書、先祖である兼治朗収集の刊本類である。	可
山武地区	217	醍醐家文書(東金市)	1,951点	主に明治20～30年代の東金町財政関係文書で、「東金町明治二十八年度地方税賦課額」等がある。これらは戸長役場の書記等を務めていたことによる。また、幕末の真忠組騒動に関する文書もある。	可
山武地区	218	奥田家文書(東金市)	106点	当家の縁戚にあたる白井家(長南町)の文書、玉泉寺(同町)の文書及び寄託者が歴史研究のために収集した文書からなる。「関八州国絵図」「台方村絵図」等がある。『茂原の古文書史料集 第三集 茂原市古文書目録集』に目録化されている。	可
山武地区	226	北村家文書(東金市)	68点	辺田方村(現東金市)に関する当家伝来の名主文書等である。文禄3年「上総国山辺郡東金領辺田方郷御縄打水帳之写」(14冊)や、宝暦7年「東金御領分御勘定帳」等がある。	可
山武地区	231	善塔家文書(山武市)	252点	明治～昭和の5代にわたって郵便局長を務めた当家伝来の文書群である。明治22年「千葉郵便電信局照会綴」、明治35年「郵便業務紹介・回答報告書綴」等がある。	可
山武地区	234	鎌田(治)家文書(大網白里町)	552点	当家伝来の文書と、白子町刺金の酒井家及び茂原市高田の杉浦家から譲り受けた文書からなる。安政4年「年貢皆済帳」、嘉永5年「役高耆人別之帳」等がある。	可
山武地区	242	多部家文書(大網白里町)	4点	寄託者が購入した文書群で、台宿村(現取手市)ほか7か村と江戸の蠟燭問屋との間で天保年間に起こった訴訟関係の文書3点、及び取手など利根川沿岸の絵図である。	可
山武地区	243	伊藤(俊)家文書(東金市)	113点	大豆谷村(現東金市)に関する名主文書や、刊本、木製の扁額等である。大豆谷村の名主であった木村家の文書の一部が縁戚にあたる当家に伝来したと思われる。	可
山武地区	250	金谷区有文書(大網白里町)	1,492点	金谷郷(現大網白里町)に関する地方文書等である。文化10年「金谷郷八給明細帳」や、明治期の猿橋野入会地をめぐる訴訟関係の文書等がある。	可
山武地区	251	井口家文書(東金市)	252点	源村(現山武市・東金市)助役や源小学校校長等を務めた井口義十郎が作成・収受した、源村の村政・教育関係を中心とした文書群である。明治37年「源村納税組合規約」「源村教育会規則」等がある。	可

山武地区	259	山口(節)家文書(山武市)	3,785点	当主が、叔父に当たる梅澤芳男から譲り受けた、「黙齋先生大学講義」等、上総道学に関するものを中心とした資料である。梅澤は上総道学の研究者として知られ、当文書群はその研究過程で収集されたものである。なお、当館収蔵の山口家文書・鎌倉家文書も、同じく梅澤の旧蔵資料からなる。	一部
山武地区	260	小松家文書(九十九里町)	1,101点	医学・薬学に関する文書を中心とする当家伝来の文書群である。江戸～明治期に医業(漢方医)を営んでいたことによって集積された。交流のあった医者・文人等の手になる書画もある。	不可
山武地区	277	並木(智)家文書(山武市)	2,400点	並木家が猪野家から譲り受け伝来した文書群である。猪野家が居住した極楽寺村(現東金市)に関する地方文書や、近代の競走馬生産に関する文書、酒造業に関する文書等からなる。	不可
山武地区	288	押尾家文書(横芝光町)	35点	昭和初期の東金銀行・東金信用組合の株券のほか、昭和10～23年頃の郵便貯金通帳、支那事変・大東亜戦争の際に発行された大日本帝国割引国庫債券等がある。	可
山武地区	308	猪野家文書(山武市)	1920点	上布田信用組合に関する明治38年から昭和7年までの文書である。	可
山武地区	322	並木(佑)家文書(山武市)	10,215点	山武市下布田の並木家に伝来したものである。下布田村の名主文書や源村に関する文書、「北条氏繁書状」「千葉定胤官途状」などがある。	可
山武地区	323	大曾根(富)家文書(大網白里町)	7点	市原市大久保の大曾根家に伝来したものである。明和6年の「大曾根家由緒家伝書」「黒川山入会地争論関係願書控」などがある。	可
山武地区	335	今井(好)家文書(大網白里市)	30点	大網白里町等の町会議員を務めた故今井義房氏に関するものである。マッカーサー駐日大使やライシャワー駐日大使から義房氏に宛てられた英文の手紙やアメリカ大使館で撮影された記念写真等がある。また、大網白里町とオンタリオ市との姉妹都市提携についての手紙もある。	不可
山武地区	343	朝日家文書(山武市)	700点	山武市蓮沼の五所神社で作成・收受されたもので、その後、同社の神官を務めた朝日家に伝来したものである。寛政元(1789)年の裁許状や明治33(1900)年の任命書等がある。	不可
山武地区	344	北田家文書(山武市)	600点	東金市台方の高家で作成・收受されたものを親戚の北田家が譲り受けて保管してきたものである。文禄の検地帳の写しや安政3(1856)年の人別長等がある。	不可
山武地区	354	根本家文書(大網白里市)	3点	大正9年1月5日に旧大網駅で発生した列車転覆事故の救護に関する文書である。	可

長生地区(茂原市、長生郡)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
-----	------	----------	----	----	----

長生地区	20	武田家文書(茂原市) ※マイクロフィルムあり	2,982点	江戸から明治時代にかけての当家伝来の上茂原村(現茂原市)と下茂原村(同市)に関する名主文書等及び板倉胤臣に関する文書等である。下茂原村の名主文書は、当家と縁戚関係にある板倉家から譲り受けた文書である。『諸家文書目録2』『諸家文書目録9』『諸家文書目録10』所収	可
長生地区	70	一宮町史収集文書(一宮町)	18点	江戸時代に作製された一宮周辺の絵図等である。『諸家文書目録8』所収	可
長生地区	81	加藤家文書(茂原市)	2,450点	江戸から明治時代にかけて、茂原市の今関家から譲り受けた地方文書等と、寄託者が購入した山武町の土屋家の地方文書等である。今関家の文書には証書類や地券等、土屋家の文書には江戸時代の寺子屋の教科書や当家の家政に関する文書がある。『諸家文書目録9』所収	一部
長生地区	111	矢澤家文書(睦沢町)	157点	江戸から明治時代にかけての上之郷村(現睦沢町)に関する当家伝来の名主文書等である。土地売買に関する文書や、元禄11年「惣百姓反別帳」や天保11年「上之郷村内分け郷名寄帳」、明治期の小学校関係の文書がある。	可
長生地区	113	秋場家文書(一宮町)	1,567点	江戸から明治時代にかけての東浪見村(現一宮町)に関する当家伝来の名主文書等である。また当家は江戸末期から酒造業を営み、さらに網元でもあったことから、これらに関連する文書がある。『諸家文書目録11』所収	可
長生地区	116	吉野(正)家文書(一宮町)	60点	明治から大正時代にかけての当家伝来の家業に関する文書である。当家は明治時代から酒卸業を営んでおり、その家業に関して一宮町が発行した商売関係の規約及び地券がある。	可
長生地区	119	関家文書(一宮町)	913点	江戸から明治時代にかけての綱田村(現一宮町)に関する当家伝来の名主文書等である。同家の関五郎右衛門は郡長・県兵事課長・県会議員等をつとめたため、それらの職務に関する文書がある。また、中央の政治家の書簡が多数ある。	可
長生地区	120	今井家文書(長南町)	21点	江戸から明治時代にかけての中原村(現長南町)に関する当家伝来の名主文書等である。年貢や土地関係の文書がある。嘉永元年「御年貢皆済目録」、「字一筆限図」等がある。	可
長生地区	121	米倉家文書(長生村)	375点	江戸から明治時代にかけての城之内村(現長生村)に関する名主文書等と、一松村の役場に関する当家伝来の文書がある。「子御年貢可納割附之事」「海岸地一筆限取調帳」や塩場関係文書等が含まれている。	可
長生地区	126	植草家文書(長生村)	300点	江戸から明治時代にかけての信友村(現長生村)に関する当家伝来の名主文書等である。土地や年貢関係の文書が多い。	可
長生地区	128	矢部家文書(長柄町)	351点	江戸から明治時代にかけての舟木村(現長柄町)に関する当家伝来の名主文書等である。「山林反別一筆限帳」や「地券証並小拾帳」等の土地や年貢に関する文書がある。	可
長生地区	129	田辺(政)家文書(長柄町)	58点	江戸から明治時代にかけての小榎本村(現長柄町)に関する当家伝来の地方文書等である。「宗門人別改帳」、慶応元年「御触書之写」や明治7年「戸籍原簿」等がある。	可
長生地区	134	池座家文書(長柄町)	75点	江戸から明治時代にかけての刑部村(現長柄町)に関する当家伝来の地方文書等である。検地や年貢、村政に関する文書がある。文録3年「御縄打水帳・屋敷帳」や寛延3年「名寄帳」等がある。	可
長生地区	139	板倉家文書(白子町)	2,133点	関村(現白子町)に関する当家伝来の名手文書等である。同村の村政や年貢等に関する文書がある。	可

長生地区	140	小倉家文書(茂原市)	10点	江戸時代の中善寺村(現茂原市)に関する当家伝来の名主文書である。同村の年貢や土地に関する文書がある。寛政11年「宗門御改帳」、享和元年「申御年貢皆済目録之事」等がある。	可
長生地区	201	板倉(中)家文書(茂原市)	102点	明治から大正時代にかけて本県の県会議員・議長をつとめた自由民権家の板倉中に関する文書である。明治20年代初めの政治状況に関する文書、東海新報に関する文書、漢詩に関する文書等がある。県立中央図書館から移管されたものである。	可
長生地区	214	飯塚家文書(一宮町)	224点	江戸から明治時代にかけての九十九里浜の漁業に関する当家伝来の地方文書である。当家は江戸時代には浜宿浦(現白子町)の浦代官をつとめた。そのため漁業についての文書が多く残されている。「覚(御浦方諸法度に付)」「御浦方当分伺 御用覚」等がある。	可
長生地区	216	幹家文書(茂原市)	2,828点	江戸から昭和期にかけての綱島村(現茂原市)に関わる当家伝来の名主文書等である。「田畑入附帳」「御年貢米取立帳」等がある。また、戸長・県会議員等を勤めたことから「千葉県会議案」「上埴生郡選挙県会議員用書類受取」等もある。閲覧に際しては、『茂原の古文書史料集 第3集 茂原市古文書目録集』で検索することができる。	可
長生地区	233	白子神社文書(白子町)	15点	当神社伝来の文書群で、「白子神社由緒書」、宝永5年「宣旨」、昭和3年「[郷社昇格に付通知]」等がある。	可
長生地区	241	鶴沢(信)家文書(長生村)	5点	岩沼村(現長生村)の検地に関する文書群である。享保18年「上総国長柄郡岩沼村見取場検地帳」、文政7年「上総国長柄郡岩沼村新田検地帳」等がある。	不可
長生地区	309	川村家文書(白子町)	57点	旧県史編さん室が受入れ等した文書である。「評定所御定書写」「元禄弍巳歳小沼田村御年貢払帳」等がある。	可
長生地区	316	関(洋)家文書(一宮町)	100点	一宮町綱田の関家で作成・收受されたものである。同家は江戸時代に綱田村の名主などを務めた。同家の関五郎右衛門は、県会議員・長柄上埴生郡長などを歴任している。また、中央の政治家とも親交があったことから、尾崎行雄・三条実美・大木喬任の書簡などがある。	不可
長生地区	324	小池(民)家文書(一宮町)	1点	大正9(1920)年10月1日の消印がある石川倉次から小池民次あての葉書で、石川家の家族の氏名・家族構成等が記されている。石川倉次は、我が国の点字をつくった人物であり、小池民次は東金高等女学校や千葉教育会理事等を歴任した人物である。	可

夷隅地区(勝浦市、いすみ市、夷隅郡)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
夷隅地区	5	菰田家文書(いすみ市) ※マイクロフィルムあり	22点	江戸から明治時代にかけての身延講、忌中・葬儀、土地証文に関する当家伝来の文書である。『諸家文書目録2』所収	可

夷隅地区	15	大曾根家文書(いすみ市) ※マイクロフィルムあり	48点	江戸時代の深谷村(現いすみ市)に関する当家伝来の名主文書である。大半が年貢皆済目録である。『諸家文書目録1』所収	可
夷隅地区	21	児安家文書(勝浦市) ※マイクロフィルムあり	440点	江戸時代の武家文書と明治時代の家政に関する当家伝来の文書である。当家は江戸時代の旗本植村氏の家臣であった。また、宝暦元年植村家が改易されてからの勝浦村(現勝浦市)の地方文書がある。『諸家文書目録2』所収	可
夷隅地区	25	久我家文書(勝浦市) ※マイクロフィルムあり	395点	江戸から明治時代にかけての浜勝浦村(現勝浦市)に関する当家伝来の名主文書等である。江戸時代の漁業関係、明治期の地租改正の指令書や実際に測量した結果を記す一筆限絵図などがある。『諸家文書目録3』『諸家文書目録9』所収	可
夷隅地区	27	吉原家文書(いすみ市) ※マイクロフィルムあり	19点	江戸から明治時代にかけての作田村(現いすみ市)に関する当家伝来の名主文書等である。年貢に関する文書が中心で、村の状況を示す明細帳や奉公人、普請に関する文書もある。『諸家文書目録3』所収	可
夷隅地区	33	清水(友)家文書(大多喜町) ※マイクロフィルムあり	5,414点	江戸から明治時代にかけての下大多喜村(現大多喜町)に関する当家伝来の名主文書等である。江戸時代の年貢関係や宗門人別帳、五人組改帳等がある。『清水(友)家文書目録』所収	可
夷隅地区	45	青柳家文書(いすみ市) ※マイクロフィルムあり	2点	当家伝来の明治13年と同16年発行の地券である。『諸家文書目録5』所収	可
夷隅地区	68	東福寺文書(大多喜町)	289点	江戸から明治時代にかけての同寺伝来の寺院文書である。同寺は天台宗の寺院である。改修にあたっての棟札等がある。『諸家文書目録6』所収	可
夷隅地区	69	吉野家文書(いすみ市)	275点	江戸から明治時代にかけての中原村(現いすみ市)に関する名主文書等である。江戸時代の検地帳や宗門人別改帳、村の境相論や当家の漁業経営、家政に関する文書がある。『諸家文書目録10』所収	可
夷隅地区	79	高師家文書(いすみ市)	13,125点	大野村(現いすみ市)に関する当家伝来の名主文書等である。江戸期の大野村の村政に関する文書や家政に関する文書等がある。	可
夷隅地区	91	清水(豊)家文書(いすみ市)	6点	「中嶋家系図」や、文政3年の「年中日記」、同12年「年中俗諦記」、明治17年「方鑿秘録」等の収集文書である。『諸家文書目録12』所収。	可
夷隅地区	92	鶴沢家文書(いすみ市)	856点	江戸から明治時代にかけての谷上村(現いすみ市)に関する当家伝来の名主文書等である。年貢、土地関係のほか断簡・葉書・古沢村(同市)村議会関係の文書もある。『諸家文書目録7』所収	可
夷隅地区	95	吉田(太)家文書(いすみ市)	69点	江戸から明治時代にかけての当家伝来の刊本類と、町村合併に伴い同家が引き継いだ中原村・和泉村・椎木村(現いすみ市)・網田村(現一宮町)の名主文書等である。検地・地境・溜池相論関係の文書や村絵図等がある。	可
夷隅地区	102	塩崎家文書(勝浦市)	-点	江戸から明治時代にかけての名主文書等であり、鶴原村(現勝浦市)の名主を努めた柴代家で作成・收受されたものであったが、塩崎家が後に柴代家から譲り受け、当館に寄託された。平成21年8月に当館から塩崎家に返還し、同年9月に柴代家から改めて当館に柴代家文書(No287)として寄贈された。	不可
夷隅地区	103	藍野家文書(いすみ市)	11,192点	若山村(現いすみ市)に関する地方文書と当家の家政に関する伝来の文書である。当家は、江戸時代には旗本阿部氏の代官であった。	可

夷隅地区	107	黒汐資料館文書(勝浦市)	1,243点	矢代嘉春が購入等により収集した文書である。明治期における串浜村(現勝浦市)の地方文書等で、土地、金銭出納帳、寺社に関する文書が中心である。『諸家文書目録12』所収。	可
夷隅地区	127	斎藤(萬)家文書(大多喜町)	3,249点	湯倉村(現大多喜町)に関する当家伝来の名主文書等である。寛永期の検地帳の写や、江戸期からの山林経営に関する文書等がある。	可
夷隅地区	133	牧野家文書(いすみ市)	2点	当家伝来の文書で長柄郡金田郷(現長生村)に居住していた金田氏の家系図である。	可
夷隅地区	157	荘司家文書(いすみ市)	235点	大井谷村(現いすみ市)に関する名主文書と家業(魚の加工業)に関する当家伝来の文書である。「宝暦十辰年天明八申年御巡見留」「御用金上納名寄帳」等がある。	可
夷隅地区	178	堀江(進)家文書(大多喜町)	1点	船橋警察署長元吉新三から千葉県知事齋藤守因に宛てた「待命書」である。	可
夷隅地区	182	藤江家文書(いすみ市)	1,922点	当家伝来の文書群で、江戸期に旗本阿部氏の在地役人を、明治初期に戸長や小学区学務委員を務めたことから、それらの役職に関わる文書がある。	可
夷隅地区	194	井上家文書(いすみ市)	13,476点	上布施村(現いすみ市)に関する当家伝来の名主文書・戸長役場文書等である。また、明治期の当主であった幹が夷隅地域の自由民権運動結社以文会の中心人物であったことから、以文会に関連する文書もある。明治7年「正副戸長給料割賦帳」「以文会会費出納簿」等がある。	可
夷隅地区	224	磯野家文書(大多喜町)	1,041点	石神村(現大多喜町)に関する磯野家伝来の名主文書等である。同家出身の寺島氏が管理していた。荒木根山山論関係文書、江戸期刊本類、地券等がある。	可
夷隅地区	227	伴家文書(大多喜町)	1点	明治から大正頃のものと思われる当家伝来の「[呉服太物大安売ポスター]」である。当家は江戸期から平成初年まで呉服商を営んでいた。	可
夷隅地区	240	渡辺(隆)家文書(いすみ市)	6,580点	当家伝来の文書群で、新田野村(現いすみ市)の名主や戸長を務めたことから、これらの役職に関わる文書等がある。延宝2年「上総国夷隅郡大多喜領新田野村田方水帳」等がある。	可
夷隅地区	265	渡邊(政)家文書(いすみ市)	1,100点	下原村(現いすみ市)に関する当家伝来の文書群で、名主や連合戸長を務めたことから、これらの役職に関わる文書等がある。延宝2年「上総国夷隅郡大多喜領下原村田方水帳」、明治16年「下原村・新田野村・細尾村聯合職員簿」等がある。	不可
夷隅地区	276	能実区有文書(いすみ市)	355点	明治12年から昭和39年までの能実区に関する文書群である。能実区の区会決議録や、名寄帳、土地台帳、養蚕に関する文書等からなる。	可
夷隅地区	279	三上家文書(いすみ市)	2,000点	下布施村(現いすみ市)名主、旗本阿部家の用人戸長を務めた。また、同家には本県でも有数の俳諧結社である花月館が置かれた。近世～近代の名主文書・戸長役場文書や県内外から寄せられた俳諧関係資料等がある。	不可
夷隅地区	287	柴代家文書(勝浦市)	536点	江戸から明治時代にかけての鵜原村(現勝浦市)に関する当家伝来の名主文書等である。海辺の村落であることから漁業に関する文書が多数ある。明和4年の「海士舟証文之事」や明治14年の「潜水器械并附属品貸渡箇数証」等がある。『諸家文書目録9』所収	可

夷隅地区	292	最首家文書 (いすみ市)	2点	江戸時代の儒学者の荻生徂徠の書である。	可
夷隅地区	293	久我(寿)家文書 (勝浦市)	4,004点	東京帝国大学文学部史料編纂所が作成した「鹿児島県下資料探訪目録」と「大日本史料合評会編集会議決定事項控」である。旧山武郡源村の村長等を務めた山本家文書もある。	一部
夷隅地区	314	大曾根(芳)家文書 (いすみ市)	1,694点	いすみ市松丸の大曾根家に伝来した文書群である。「上総水電株式会社第16期事業報告書」「上総水電株式会社電燈供給規定」「郡会議員当選証書」等がある。	可
夷隅地区	339	石井(紀)家文書 (いすみ市)	200点	岩熊村(いすみ市岬町岩熊)の名主等を務めた石井家に伝来した文書群である。同村は江戸時代の天保年間に江戸北町奉行や大目付等を務めた遠山景元(遠山の金さん)の知行地であった。「御年貢庭帳」「申渡之覚」「遠山奉行関係記」等がある。	不可
夷隅地区	362	吉野(ゆ)家文書 (勝浦市)	4点	寄贈者の祖父が高等小学校在学時に使用していた地理及び理科の筆記帳、清書草紙である。	不可

安房地区(館山市、鴨川市、南房総市、安房郡)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
安房地区	18	上堀区有文書 (南房総市) ※マイクロフィルムあり	1,403点	江戸から明治時代にかけての上堀村(現南房総市)に関する同区伝来の文書である。『諸家文書目録3』所収	可
安房地区	24	永井家文書 (鴨川市) ※マイクロフィルムあり	8,116点	江戸から明治時代にかけての北風原村(現鴨川市)に関する当家伝来の地方文書等である。江戸時代の年貢の取立帳・小割帳や明治期の地租改正に関する文書がある。『永井家文書目録』に4,382点を所収	可
安房地区	72	江見共有文書 (鴨川市) ※マイクロフィルムあり	267点	明治時代の江見町(現鴨川市)に関する沿革誌、出納関係史料、共有地の維持管理に関する同区伝来の文書である。明治末期に国から払い下げられた共有地に関する昭和13年以降の文書等がある。『諸家文書目録5』所収	可
安房地区	104	堀江家文書 (南房総市)	1,241点	江戸から明治時代にかけての家業や家政に関する当家伝来の文書である。当家は水産加工業(鮑等)や質屋を営んでいたためにこれらに関する文書が中心である。天保14年の「水揚勘定帳」や明治23年の「質物台帳」等がある。『諸家文書目録8』所収	可
安房地区	124	寺田家文書 (館山市)	128点	江戸から明治時代にかけての名主文書等である。内容は同じ藤原村(現館山市)の井月家に伝来した文書で、これを当家が譲り受けた。「藤原村年貢皆済目録」や「村税収入証」等がある。	可
安房地区	125	田辺家文書 (館山市)	94点	江戸時代の藤原村(現館山市)に関する当家伝来の名主文書である。金子・土地借用証文や地券等がある。	可

安房地区	130	岡瀬田区有文書(南房総市)	2,237点	南朝夷村(現南房総市)に関する同区伝来の文書である。年貢・土地・区行政等に関する文書で、慶長2年「南朝夷村検地水帳」、天保2年「寅御年貢皆済目録」等がある。	可
安房地区	131	和田家文書(館山市)	77点	江戸から明治時代にかけての江田村(現館山市)に関する当家伝来の名主文書等である。村政、年貢、土地等に関する文書がある。天保6年「名主役申付」、「勤農掛附属扶持達」等がある。	可
安房地区	141	石井(祐)家文書(館山市)	96点	寄託者が収集した明治時代の地方文書等である。明治期の千葉県布達や太政官達の写と、明治期の大網町・増穂村(現大網白里町)の土地に関する文書である。	可
安房地区	160	千倉町史収集文書(南房総市)	396点	千倉町の町史編さん時に千倉町が寄贈を受けて収蔵していた文書群である。江戸期の刊本類や近代の酒類売上合帳、教科書等がある。	可
安房地区	175	松本家文書(鴨川市)	1,102点	当家伝来の文書群で、明治期に上小原区(現鴨川市)区長を務め、醤油の醸造・販売を行っていたことから、それらに関わる文書等からなる。明治7年「田方御年貢割付帳」、明治39年「醤油製造帳」等がある。	可
安房地区	177	山田家文書(南房総市)	200点	柴村(現南房総市)に関する当家伝来の名主文書等である。文政12年「乍恐以書付御訴訟奉申上候(入会山差障出入に付)」、慶応4年「村高反別書上帳」、明治9年「御用留」等がある。	可
安房地区	185	吉野(捷)家文書(南房総市)	52点	安土桃山から昭和時代にかけての上三原村(現南房総市)に関する当家伝来の地方文書等である。天正13年「官途推挙状」、安永6年「新畑名寄帳」等がある。	可
安房地区	192	永井(俊)家文書(鴨川市)	4,100点	北風原村(現鴨川市)に関する当家伝来の名主文書等である。当家は嶺岡牧の牧士を務めており、明治期以降は一族から県会議員や千葉市長等を輩出している。「千葉県安房国安房郡朝夷長狭四郡ヲ併セテ郡トナス請願」「野馬写真」等がある。	不可
安房地区	221	吉野(寛)家文書(南房総市)	1,511点	不入斗村(現南房総市高崎)に関する当家伝来の名主文書等である。天保9年「安房国平郡不入斗村御差出写」や、漁業を営んでいたことから文化7年「[漁業関係規約書]」等がある。また、明治期には戸長等を務めたことから、その職務に関する文書もある。『千葉県古文書目録 安房国2』に目録化されている。	可
安房地区	239	瀧原家文書(鴨川市)	78点	嶺岡牧や東野尻村(現鴨川市)に関する当家伝来の文書群である。当家が嶺岡牧の牧士と東野尻村の名主を務めていたことから、これらの役職に関する文書が伝わっている。「[牧士任命に付書状]」、寛政7年の「御鹿狩御規定進方一件留」等がある。	可
安房地区	262	中嶋家文書(鴨川市)	226点	「千葉県観光協会の事業及び歳入出に関する資料」等、千葉県の観光事業に関わる文書群で、当主が磯村英一から譲り受けたものである。磯村は当主の父と共に千葉県の観光事業の発展に寄与した人物である。	可
安房地区	268	地引家文書(南房総市)	41点	近世初頭に番匠(大工)を勤めた由緒をもつ当家伝来の文書群である。番匠関係史料として元和6年「取名状」や「番匠秘事」等がある。	可
安房地区	281	中島(宗)家文書(鴨川市)	68点	旧制長狭中学校や新制長狭高校で教員を務めていた中島安藝男氏が記した昭和5年から昭和59年までの日記等である。	不可

安房地区	290	七浦建友会文書(南房総市)	20点	明治30年代から昭和期にかけての太子講等に関する文書がある。	可
安房地区	291	間宮家文書(南房総市)	40点	当家伝来の文書群である。寄贈者の祖父が設立に携わった和田銀行、同銀行と合併した房州銀行、房州銀行の営業譲渡先である安房合同銀行に関する文書である。	可
安房地区	311	高橋(一)家文書(南房総市)	36点	安房国で元禄年間から明治初期まで陰陽師を務めた当家伝来の文書群である。「土御門家陰陽師許状」「陰陽師勤職」等がある。	可

君津地区(木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
君津地区	28	伊藤(俊)家文書(木更津市)	15点	当家伝来の書道関係の文書である。	可
君津地区	46	苅込家文書(君津市) ※マイクロフィルムあり	94点	明治・大正時代の警察官の職務に関する当家伝来の文書である。『諸家文書目録5』所収	可
君津地区	73	各務家文書(富津市)	72点	江戸から明治時代にかけての当家伝来の武家文書等である。当家は、江戸時代に小久保藩(現富津市)藩主田沼氏に仕えてきた家柄である。先祖の履歴を示す文書や明治期の郵便関係の辞令等の文書がある。『諸家文書目録7』所収	可
君津地区	77	鳥飼家文書(袖ヶ浦市)	7,374点	江戸から昭和時代にかけての奈良輪村(現袖ヶ浦市)に関する当家伝来の名主文書等である。奈良輪村の村政に関する文書のほか、江戸時代の酒造業や質屋の家業に関する文書や明治時代の塩田・養殖などの文書がある。『鳥飼家文書目録上・下』所収	可
君津地区	84	小熊家文書(富津市)	586点	明治・大正時代を中心とした刊本類や、大正10年『佐貫町誌』および鬼泪山に関する当家伝来の文書である。『諸家文書目録8』所収	可
君津地区	105	小原家文書(木更津市)	1,635点	江戸から明治時代にかけての中島村(現木更津市)に関する当家伝来の地方文書等で、県立中央図書館から移管された文書である。土地関係が多く、明治9年の作成と思われる野帳は1号から99号まで揃っている。『諸家文書目録8』所収	可
君津地区	223	渡邊家文書(袖ヶ浦市)	8点	東京湾の干拓事業の一環として昭和20年代に着手された、長浦地区(現袖ヶ浦市)の干拓に関する文書群である。寄託者が千葉県職員としてこの事業に携わっていたことから、職務に関連して蓄積されたもので、「長浦地区長浦干拓建設事業実施設計書」等がある。	可
君津地区	245	三枝家文書(木更津市)	111点	椿村(現木更津市)に関する当家伝来の名主文書等である。寛文7年「寛文度裁許絵図」、明治12年「椿笹子両村入会絵図」等がある。	可

君津地区	246	板垣家文書(君津市)	5点	小糸川(君津市)の舟運の様子を撮影した写真(ガラス乾板)である。	可
君津地区	248	鳥海家文書(富津市)	2,971点	梨沢村(現富津市)に関する当家伝来の名主文書等である。天正19年「天羽郡嶺下梨沢村御縄打水帳」のほか、名寄帳、年貢皆済目録、五人組帳等がある。また、江戸期の刊本類や文化文政期の「鳥海家日記」もある。	可
君津地区	258	小澤(公)家文書(富津市)	1,800点	当家伝来の文書群で、本郷村(現富津市)に関する名主・戸長役場文書と、家政に関する文書等からなる。『千葉県古文書目録 上総国1』に目録化されている。	不可
君津地区	278	菱田家文書(富津市)	4,658点	湊川舟運の徴税・港郵便局に関する文書、近隣の村の名主文書、柳田國男の講義内容を記した菱田忠義氏のノート等がある。	一部
君津地区	280	小滝組有文書(君津市)	234点	君津市山滝野の小滝農家組合が長年にわたって保管してきたものであり、近世～近代の年貢や山林に関するものがある。「上総国望陀郡之内小滝村水帳」や「山林反別書上」等が散見される。	可
君津地区	285	剣持家文書(富津市)	2,334点	八田沼村(富津市八田沼)の名主文書及び戸長役場文書等から構成されている。近世では、年貢の納入・御触書・鬼泪山の株の刈取り訴訟、近代では副戸長の辞令・八田沼耕地整理組合等に関するものがある。文化資料として地方俳諧に関する資料もある。	可
君津地区	312	北村(敦)家文書(木更津市)	2点	昭和16年発行の「支那事变国庫債券」2点(いずれも25円券)である。同債券は、政府が日中戦争の戦費調達のために昭和12年度から16年度にかけて発行したものである。	可
君津地区	327	松岡家文書(木更津市)	100点	木更津町の町長を大正8年から昭和14年まで務めた伊藤勇吉に関するもので、宮内省次官の関谷貞三郎からの礼状や木更津港起工式の礼状の他、地方制度についての意見が述べられた書状等がある。	不可
君津地区	347	戸倉家文書(木更津市)	700点	戸倉家は南房総市山田の旧家である。嶺岡畜産会社に関するものや、明治から昭和にかけての日記等で、嶺岡牧の土手の修繕を行った際に作成された明治24(1891)年の取調帳、明治29(1896)年の嶺岡畜産会社の株式配当金を記した配当簿等がある。	不可
君津地区	353	鳥海(満)家文書(富津市)	500点	売津村の村役人を務めた当家伝来の文書群である。寛文期の検地帳や名寄帳など近世の村政史料のほか、近代の私文書の中には、当家が営んだ石材業(房州石の石材加工)に関する帳簿がある。	不可
君津地区	358	宮家文書(富津市)	100点	富津市佐貴で有限会社宮醤油店を経営する宮家に伝来したものである。宮家は天保5年に伊勢屋を創業し、紙や雑貨をあつかう荒物商を営みながら醤油醸造も行うようになった。「第二十一番中学区内第四百四番第四百四十一番聯区佐貴小学校新築略図」、「[穀類販売価格願書]」、「明治九年六月中物価日々相場取調書上」などがある。	不可

県外(当館所蔵)

地区別	整理番号	文書名(所在地)	点数	概要	閲覧
-----	------	----------	----	----	----

県外(当館所蔵)	16	村井家文書(兵庫県伊丹市)※マイクロフィルムあり	455点	江戸から明治時代にかけての当伝来の家政に関する文書と能見松平家に関する武家文書等である。当家は、三条家のお抱え医師であり、能見松平家とは縁戚関係にあった。能見松平家が絶えたので、その文書を譲り受けた。『諸家文書目録2』所収	可
県外(当館所蔵)	54	湯原家文書(東京都清瀬市)※マイクロフィルムあり	38点	明治時代に小学校の教員をつとめていた寺田軍平に関する文書である。当家は寺田家と縁戚関係にあるため譲り受けた。小学校教員検定願、日記、履歴書などがある。『諸家文書目録5』所収	可
県外(当館所蔵)	55	柴山家文書(埼玉県さいたま市)※マイクロフィルムあり	168点	明治時代初期に安房上総知県事・宮谷県知事をつとめた柴山典に関する当伝来の文書である。宮谷県知事任命状、房総知県事印・宮谷県東京出張所印、典や家族を撮影した写真がある。『諸家文書目録5』所収	可
県外(当館所蔵)	90	高木(清)家文書(岐阜県関ヶ原町)	4点	当伝来の、嘉永2年「下総国輿地全図」と「いろは節用集大成」である。『諸家文書目録12』所収。	可
県外(当館所蔵)	106	荻生家文書(東京都杉並区)	55点	明治時代の当伝来の教育関係文書である。故荻生規矩夫の旧制千葉中学の卒業証書や同人の研究業績、その父である千葉医学専門学校長兼教授の荻生録造の履歴を示す文書がある。『諸家文書目録12』所収。	可
県外(当館所蔵)	114	荒木家文書(神奈川県藤沢市)	6点	故荒木博臣に関する当伝来の文書である。同人は宮谷県大参事であり同県知事柴山典の部下であった。後に福島裁判所や東京重罪裁判所長等を歴任した。同人の肖像画、写真、履歴を示す文書等がある。	可
県外(当館所蔵)	137	小池家文書(群馬県館林市)	418点	江戸から明治時代にかけての田間村(現東金市)に関する遠山家伝来の文書を、寄託者が購入したものである。同村の土地、戸籍、用水、戸口等に関する文書がある。	一部
県外(当館所蔵)	142	柴原家文書(愛知県名古屋市)	13点	明治時代の柴原和に関する当伝来の文書である。当家は木更津県権令・千葉県令をつとめた柴原和の末裔である。「任木更津県令(辞令)」や「柴原家記念写真」等がある。	可
県外(当館所蔵)	144	瀬脇家文書(神奈川県横須賀市)	2点	瀬脇家に伝来した手塚律蔵及び手塚かの(律蔵の妻)肖像画である。	可
県外(当館所蔵)	150	梅田家文書(東京都世田谷区)	98点	寄託者が知人から譲り受けた文書である。明治時代の政治家伊藤博文、岩倉具視、大久保利通等から松方正義にあてられた書簡である。	可
県外(当館所蔵)	164	宮島家文書(東京都大田区)	2点	江戸時代の上総国・下総国の木版彩色絵図2点である。	可
県外(当館所蔵)	171	永井(華)家文書(東京都調布市)	167点	望陀・周准・天羽郡長及び衆議院議員をつとめた永井謙蔵と、大分県知事・千葉市長等をつとめた永井準一郎に関する当伝来の文書である。	可
県外(当館所蔵)	273	佐藤(正)家文書(東京都江戸川区)	9点	明暦～元禄年間に作成された秋田藩家臣梅津家の公用日記である。明暦元年「忠国君御日記一」天和三年「忠宴日記 五四」等がある。	可
県外(当館所蔵)	286	松田家文書(香川県丸亀市)	2点	依田学海の漢詩及び海上胤平の和歌の掛軸である。	可

県外(当館所蔵)	297	本井家文書 (新潟県新潟市)	43点	江戸時代の中期から明治期までの手賀村(柏市)や八ヶ崎村等の文書である。	可
県外(当館所蔵)	300	峰村家文書 (新潟県新潟市)	436点	生実藩主であった森川家において作成・收受された文書である。明治以降の文書が中心となっている。森川家過去帳、叙勲状等がある。	可
県外(当館所蔵)	304	千々和家文書 (神奈川県横浜市)	16点	櫃挟村(市原市)の江戸時代の文書である。「午櫃はさま村御年貢可納割付事」「上総国市原郡櫃挟村新畑御納金覚」等がある。	可
県外(当館所蔵)	315	佐藤(博)家文書 (神奈川県横浜市)	32点	寄贈者が購入したものである。下総国生実藩の歴代藩主であった森川家当主が主に記した文書で、卷子4本に仕立てられている。	可
県外(当館所蔵)	329	豊田家文書 (東京都目黒区)	165点	千葉県で最初の写真師といわれる豊田尚一に関するもので、「千葉神社祭礼写真」や「豊田尚一肖像写真」等がある。	可
県外(当館所蔵)	334	根岸家文書 (東京都清瀬市)	100点	寄贈者の実父の根岸道泰が職務上、作成・收受した文書のうち千葉県に関するものである。同市は千葉行政監察局長など歴任したことから「千葉県における生活安定対策所動向」「業務状況」などがある。	不可
県外(当館所蔵)	352	塚田家文書 (茨城県稲敷市)	110点	寄託者が収集・保管していた文書群である。明治期の地図のほか、「御神輿順行書」等の祭礼関係文書、「道路修繕寄付名簿」等の牧野関係文書及び出征軍人に関する文書がある。	不可
県外(当館所蔵)	355	上松家文書 (兵庫県伊丹市)	2点	寄託者が収集したものである。柴山郡政方から津辺村(山武市)の名主に出された柴山藩関係の書状、上総国と下総国で捉飼場に設置された村の一覧とそれぞれの村の石高が記載されている「鷹狩関係の竖帳」である。	不可